



日野市立小・中学校には、教員のほか栄養士・給食調理員・用務主事・学校事務・安全管理員など、多くの職員が勤務し、子供たちの学びと育ちを支えています。登下校の見守りや学習支援、部活動などには、保護者・地域の皆様のご協力をいただいています。

特に新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止に伴い、共用する設備、教材の消毒作業やマスクなどの寄付など多くの皆様からお力をいただき、ひのっ子の「学びと育ち」は支えられています。

大切な時の流れを ゆったりと

日野第一小学校

「休み時間に何して遊ぼうかな。」「給食なにかな?」と学校では楽しいことが一杯です。いろいろと制約はありますが、手洗い指導を徹底して、今まで通りの「学校探検」を実施しました。命を守るための「水泳指導」も対策を十分取って、今夏も実施しています。主体的に時間を意識し、生活する力を育むよう「チャイム」をやめました。時がゆったりと流れています。

手洗い名人になるため練習中!



がっこうの 「あたらしいせいかつ」

たきあい生き生き プロジェクト

滝合小学校

昨年度末、学校、地域の農家さん4軒、浅川清掃サークル「浅川っ子」、「おやじの会」等が一体となって「たきあい生き生きプロジェクト」を結成しました。今年度は近隣10自治会の協力も得て、地域ボランティア5人、保護者ボランティア31人も加わって活動をしています。

6月に5年生が校庭にある田んぼに古代米を、畑に陸稲を植えました。秋になって収穫したコメは、1月に給食として全校児童でおいしくいただきます。みんなで丹精込めて育てたお米。今から楽しみです。



滝合小学校
はこちら



日野第一小学校
はこちら



子供たちのまなびと育ちを支える
日野市立中学校8校の紹介

エイト HINO.8

8人の選手で組まれるラグビーのスクラムは、個性的な8人の選手が力を合わせて大きな力を生み出しています。日野市立中学校8校「HINO.8」は、子供・家庭・地域の願いや特徴をいかした特色ある教育活動を推進しています。



生きるよろこびを実感できる、
潤いある人間関係を育みます

日野第四中学校 校長 中村 宏



日野四中は、生徒の人間関係形成能力をはぐくむ教育活動を推進しています。学校行事や地域と連携した行事、学級活動を、生徒が人と人とのつながりがもたらす温かさについて確かめ、感じたことを伝え合える場として大切にしています。また、子供たちが生き生きと過ごせる家庭、学校、地域を実現するため、「いのちのプロジェクト」や「思春期講座」を通して、生命を尊重する心を育んでいます。



自分育ての出来る
わくわくした学校を目指して

日野第一中学校 校長 高橋 清吾



対話のある魅力ある授業、規律ある学校生活、活気ある部活動を基盤として、子供たちが自ら考え、自ら行動する自分育ての出来るわくわくした学校を目指します。一中生の自律と自立のために、対話を通して人と人との関係を作り、子供たちにとって何が大切か、為すべきことは何かを生徒、教員、保護者、地域と共有し、進めていきます。ふるさと日野を愛する心と社会で活躍する力を培う教育を推進いたします。



多様な学びのなかで
生徒が輝く学校

日野第二中学校 校長 石川 晴一



日野二中の建学の精神は「自主・自律」です。生徒は、自分自身で考えて行動し、自分の立てた目標に向かって努力しています。

「二中活性化プロジェクト事業」では、地域の皆様にご協力をいただく体験学習や、外部講師による講演会を実施します。放課後の補習授業では一人一人に合わせたきめ細やかな指導を行います。

日野二中は、多様な学びを通して生徒一人一人が輝く学校を目指します。

屈託のない笑顔

平山中学校 校長 和田 栄治



子供たちが全力で取り組み、やり遂げた後の屈託のない笑顔が大好きです。そのため、平山中学校では、体育祭や合唱祭などの行事、移動教室や部活動に力を入れ、生徒が自ら挑戦する場を多く設定しています。

そして、「大人が変われば子供も変わる。」という言葉があるように、我々教員が主体的に取り組むことで、生徒の主体性や問題解決能力を高めていきます。今年度は新たに防災訓練を行い、地域の安全に貢献できる資質や能力を育てていきます。

今この瞬間を 大切にする

大坂上中学校 校長 井田 久雄



本校の教育目標は「①よく考え、進んで学ぼう。②思いやりの心もち、他につくそう。③心身を鍛え、全力でやり抜こう。」です。この目標の達成に向け全教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。

大切なことは人間本来の知恵と力、人間力を身につけることであり、新しいことを学び続けようとする姿勢をもたせることが重要です。主体的な学びの実現と共に、今この瞬間を大切に、未来を逞しく生き抜いていける生徒の育成を目指します。

選べる学校制度

「選べる学校制度」は、入学する学校を選ぶことができる制度です。中学校は4つのブロックに分かれ、お住いのブロックの中から学校を選んでいただきます。ブロックの境の地域にお住いの場合は、隣接する他のブロック内の学校から、お住いに近い学校を選ぶこともできます。

問 学校課(☎514-8719)



「頑張る時はいつも今」
「大切にしよう素直な心」
「感じよう人の役に立つ喜び」

三沢中学校 校長 石村 康代



三沢中学校は、家庭・地域と学校が連携し、生徒を鍛え、一人一人の可能性を伸ばしていきます。コロナ禍では「自衛、自制(自分の行動をコントロールする)、共制(声をかけ合う)」を合言葉に感染症対策の意識や行動の向上を図っています。生徒には、困難の中にあっても、いのちを大切に、人と人が認め合い、支え合い、協働して課題を解決していく意欲や知恵を身に付けてほしいと願っています。

生徒ひとりひとりが輝いて、
プライドをもてる学校

七生中学校 校長 秋野 宏之



七生中学校は、「あいさつ」が溢れる学校です。そして、生徒は相手の気持ちを考えた「マナー」を日頃から意識しています。これは上級生が下級生のモデルとして活躍してきたことで定着したものです。これからの時代を生きる生徒は、自ら課題を見つけ、考え、解決する力を身に付けることが必要です。生徒ひとりひとりが輝いて、七生中生であることにプライドをもてる学校を目指し、保護者、地域の皆様と一緒に教育活動を進めて参ります。



地域と共に50年

日野第三中学校 校長 宮原 延郎



日野三中は、開校50周年を迎えました。これまで地域、保護者の方々から頂いたご支援に感謝申し上げます。地域と共に学び、地域で成長し、地域に貢献できる三中生を目指して、七生特別支援学校や高齢者との交流活動、職場体験を推進しています。

三中といえば英語教育。日常生活で英語と触れる環境を作り、一人一人の学びを大切にしたい楽しい英語授業を展開して、英語の大好きな生徒を育てています。



図書館
「第4次日野市子ども読書活動推進計画
～本のむこうに きっとみつかる それぞれの未来～」をつくりました

基本方針は、以下の三つです。

1. すべての子どもたちが、身近に本と出あえる環境づくり
2. 子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み
3. 子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みの充実

これからも、関係各課や子どもと本をつなぐ活動をする方々と連携して、すべてのひのっ子たちの、それぞれの読書活動を応援していきます。

図書館のHPをのぞいてみてください

新型コロナウイルス感染防止対策で、図書館は臨時休館をいたしました。その間、「休館中でも楽しめるサイト」として、親子または児童向けにまとめたコンテンツを掲載しました。調べ学習などに利用できそうな他機関のサイトなどをまとめています。「こどものページ」では図書館の使い方や日野市について楽しく学べるコーナーやクイズ、おすすめの児童書のリストなどを掲載しています。

日野市在住・在学の高校生・大学生による

日野ヤングスタッフの活動紹介ページ「ヤングコーナー」、大人に向けたおすすめの本「図書館員の本箱」も掲載しています。

ぜひ、図書館HPをご活用ください。



新選組のふるさと歴史館
夏の企画展「謎解き！新選組のふるさと日野」

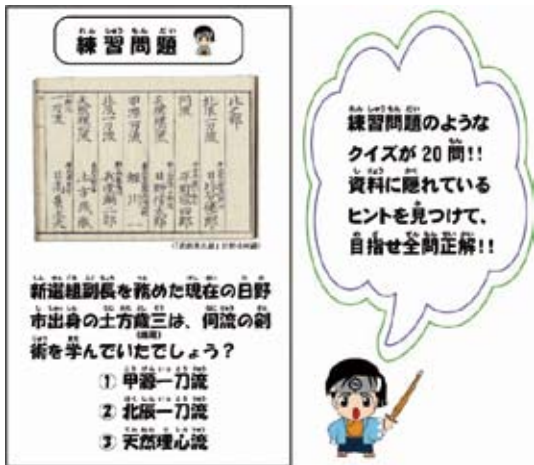
現在、クイズを解きながら皆さんの住んでいる「新選組のふるさと日野」について学べる展示を開催しています。江戸時代の日野は、どのようなところだったのか。20問のクイズを用意して、皆さんの挑戦をお待ちしています。

会期 9月6日(日)まで。月曜休館

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料 大人200円・小人50円

問 新選組のふるさと歴史館 (☎583-5100)



学びのチャンスいろいろ



生涯学習課
地域の皆さんの力で
学校を支えましょう
(地域学校協働活動推進事業)

子どもたちが健やかに成長するためには、地域や保護者の方々の力が必要です。本事業では、幅広い地域の住民や家庭と学校が連携・協働することにより、地域ぐるみで子供たちの成長と学びを支援することを目的として様々な取組を行っています。

この事業を実施するにあたり学校と地域の橋渡し役として、全小学校で42人の「地域コーディネーター」が、ボランティアさんの協力とも併せて、地域全体で子供たちを支えるために活動されています。



▲桑の木剪定のサポート。そのほか、学習支援、環境整備、登下校の見守り、行事支援、様々なボランティア活動を行っています。(仲田小学校)

郷土資料館
企画展「どつき土器展2020～考古学入門」

発掘調査はどのように行われるのでしょうか？調査の実際を紹介します。

会期 9月27日(日)まで

ただし9月21日(月)・22日(火)は開館、23日(水)は休館



パネル展 戦後75年『戦争体験を語り継ぐ』

今年は、市内に残る戦争ゆかりの地を紹介します。

会期 9月11日(金)まで。月曜休館

観覧時間 午前9時～午後5時

問 郷土資料館 (☎592-0981)



中央公民館
公民館へいこう！
第2次日野市公民館基本構想・基本計画

基本理念～市民の暮らしに寄り添いながら
市民のつながりの中に“学び”を生み出す～

基本目標1 豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す

基本目標2 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ

基本目標3 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す

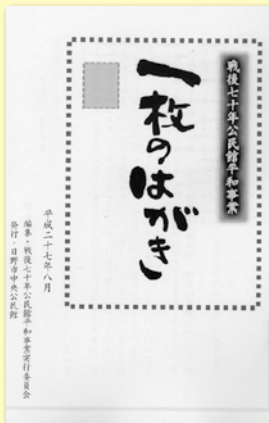
中央公民館では、公民館運営や取り組みについて、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画を策定しました。

「学び」は、自分たちがともに暮らす社会や地域へ思いが向き、何か新しく行動してみようと思えるきっかけになります。公民館では、学校や地域で活躍する様々な団体などとの連携をさらに充実させ、楽しく豊かな暮らしを実現するお手伝いをさせていただきます。

中央公民館
はこちら



次世代に繋ぐ戦争と平和



公民館では、家族や友達とともに「平和」考える機会として平和事業を行っています。市内に住む戦争を体験した方たちからのメッセージを、戦後50年(1997年)と70年(2017年)の節目に、「一枚のはがき」として冊子にまとめました。ご覧になりたい方は、中央公民館までお問合せを。

問 中央公民館 (☎581-7580)